

令和 6 年度 指定管理者業務の評価表

1 施設概要

施設名	志摩市浜島B&G海洋センター	所在地	志摩市浜島町浜島3564-4
指定管理者名	特定非営利活動法人浜島スポーツクラブ	指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日
設置目的	スポーツを通じて住民の体力向上及び心身の健全な発達を図り、もって住みよい地域社会を形成することを目的として設置する。		
業務内容	(1) 海洋センターの利用の許可に関する業務 (2) 海洋センターの利用に係る料金の徴収に関する業務 (3) 海洋センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が海洋センターの管理上必要があると認める業務		
施設概要	平成3年4月10日竣工 アリーナ (31×28m)、武道場・トレーニングルーム (28×15m)、ミーティングルーム、温水プール (一般用25×13m1面、幼児用10×6m1面)、事務所、トイレ、更衣室、シャワー室、倉庫、その他附属建物 (艇庫、機械庫、倉庫)、駐車場 (80台収容) 温水プールは3~12月のみ営業		
職員体制	正職員3名、臨時職員7名		
施設所管課名	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位：円)	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較 (C - B)	
事業収支	収入	指定管理料	29,117,000	32,051,000	31,136,000	-915,000
		利用料金	3,461,250	3,248,000	3,177,750	-70,250
		その他	284,815	107,259	121,601	14,342
		計(a)	32,863,065	35,406,259	34,435,351	-970,908
	支出	人件費	15,267,809	16,287,431	16,494,823	207,392
		管理運営費	16,131,443	16,816,740	15,538,382	-1,278,358
		その他	1,685,000	1,829,500	1,565,000	-264,500
		計(b)	33,084,252	34,933,671	33,598,205	-1,335,466
収支差引額(a-b)		-221,187	472,588	837,146	364,558	

## 1 施設概要

<p>最新年度 (C) と前年度 (B) に収支の増減があったものについて記載</p>	<p>【収入の部】</p> <p>■指定管理料 915,000円減</p> <p>・光熱水費高騰分を要求の結果、令和6年12月27日付及び令和7年3月28日付変更協定により計2,036,000円増額（令和5年度は2,811,000円増額）</p> <p>■利用料金 70,250円減</p> <p>・プール利用料 65,250円減</p> <p>・アリーナ利用料 5,000円減</p> <p>【支出の部】</p> <p>■人件費</p> <p>○給与 504,000円減</p> <p>・正職員1名 11～2月休職（傷病のため）による不労期間の賃金不支給</p> <p>○賃金 約751,000円増</p> <p>・臨時職員1名増、臨時職員1名の雇用時間を3時間から5時間に拡大、最低賃金引き上げに伴う10月以降の臨時職員時給額の増額</p> <p>○手当・共済費 計約40,000円減</p> <p>■管理運営費</p> <p>○旅費 約360,000円減</p> <p>・令和5年度は沖縄研修にかかる旅費があったため</p> <p>○需用費 623,000円減</p> <p>・光熱水費 約184,000円減（電気約259,000円減、ガス約86,000円減、水道約161,000円増）</p> <p>・修繕費 約475,000円減</p> <p>○備品購入費 約336,000円減</p> <p>■その他</p> <p>○公課費 約264,000円減</p>
---	---

## 3 総合評価

指定管理者	市
<p>経理面では、前年同様、光熱水費の高騰による不足分について指定管理料を増額していただくことができ、安定した運営を図ることができました。施設使用料収入については、令和3年度以降の一時的な増収の要因となっていた他施設閉鎖からの利用者流入やワクチン接種会場利用がなくなり、大きく減収すると予測しましたが、結果としてアリーナ合宿利用が好調だったこと、プール利用者が懸念したほど減少しなかったことなどにより、決算額約317万円と、予算比で約45万円のプラスとなりました。また今年度は人件費が大きく抑えられたこともあって、収支結果としては約83万円のプラスとなりました。</p> <p>自主事業では、主軸であるスポーツ教室の運営がスイミング教室受講生数237名（前年度比31名増）、会員総数409名（前年度比25名増）と過去最高となり、好調でした。志摩市健康推進課より事業委託を受け市民の健康づくりを目的とした6教室を開講し、延べ2,000人超の利用があり、好評を得ました。</p>	<p>人件費や光熱水費の高騰による指定管理料の増額はあったものの、その他経費の削減等の経営努力により、収支の安定化が図られている。</p> <p>施設の利用状況も安定しており、利用者目線に立った、利用しやすい環境づくりに努められている。自主事業等開催により、地域の活性化や交流促進にも寄与されているほか、市外団体等の合宿利用の促進にも取り組んでいる。</p> <p>施設利用者のニーズへの対応について、施設担当課との協議を含め検討するとともに、引き続き、施設の適正な管理に努められたい。</p>

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価内容	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分に理解して管理を実施した。	A	日々の業務において、施設の目的や基本方針について理解の程が見受けられた。	
	施設設置目的の達成度	A	施設の設置目的である、住民のスポーツを通じての体力向上及び心身の健全な発達に資することができた。	A	施設の利用者数・運営状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。	
	運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られた。	A	事業計画書に計画された運営が行われた。	
	職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であった。	A	職員の配置は適切に行われており、勤務実績も改善が必要な点は見受けられなかった。	
	意思疎通	A	相談・連絡は電話・訪問等により密におこない、報告についても遅滞なくおこなった。また内容及び処理に疑義が生じた場合は迅速に教育委員会の指示を仰いだ。	A	連絡等、必要な際には随時連絡により遅滞なく、情報共有できた。	
	各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。	
	使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより、適正に事務を行っていた。	
	利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより、適正に事務を行っていた。	
	個人情報	A	個人情報の取扱いが適正になされていたか。	A	個人情報取扱特記事項の内容をよく理解し、適正な取扱いがなされていた。	
法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	運営に関連する地方自治法、スポーツ基本法を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することができない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価			
業務運営項目	評価内容	指定管理者		市	
		判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	施設利用状況及び利用者増加への取り組み	A	市内の宿泊業者と連携し利用者の利便性を図り、合宿利用向上に取り組んだ。また自主事業を充実させることで利用者数増加を図った。	A	状況に合わせて自主的な取組が行われており、利用者満足の向上が図られた。
	利用者の平等な利用	A	全職員が情報を共有できるよう『職員用回覧板』にて申し送りをし、サービス水準の確保に努めた。	A	サービスの質を落とすことのないよう日々改善に取り組んでおり、サービス水準は、期待される水準にあった
	適切な情報提供	A	SNSや館内掲示を活用し、施設や教室のスケジュールやイベントの情報発信を図り、またSNSを利用しない層へは電話やメールで連絡をおこなうなど取りこぼしのない情報提供に努めた。	A	すべての利用者が情報を得ることができるよう工夫をしており、電話連絡やSNS等を活用して情報提供に努められた。
	非常時・緊急時の対応	A	津波・地震発生時の職員配置、傷病人発生時の対応マニュアルを整備し、全職員の共通理解を図った。また緊急時の体制や連絡網は目につくところに掲示している。	A	緊急時のマニュアルが整備されており掲示も行っていることから、誘導や案内についても適切な対応をいただき更なる資質向上に努められたい。
	苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情は常に全職員が速やかに共有・対処できる体制を取り、迅速かつ適切に対応できた。	A	苦情への対応は、その状況に応じて適切に対応されていた。
	自主事業	A	従来事業に加え、志摩市健康推進課より事業委託を受け市民の健康づくりを目的とした6教室を新たにスタートさせ、受講生から好評を得た。	A	多様化する利用者ニーズを的確に把握し、利用者に応じた自主事業及び委託事業の実施に努めていた。
	事業の評価	A	事業実施後は職員間また指導員とも話し合う機会を設けて改善点の把握と共有を図り、次年度につなげられるよう努めた。	A	話し合いによりきちんと事業の評価がなされており、その結果を反映させた事業計画が策定できている。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表

評価項目		評価			
業務運営項目	評価内容	指定管理者		市	
		判定	評価理由	判定	評価理由
施設・設備等の維持管理	建物・設備の保守点検	A	建物・設備の点検は常に行われ、修繕・修理が必要な場合は職員間でスムーズに報告・指示がなされ、迅速に対処した。植栽等についても適切な管理を行い、美観の保持に努めた。	A	施設設備等について安全上の問題はなかった。
	備品の管理	A	備品の管理・点検・保守は、備品台帳に基づき適切に行なった。	A	備品台帳に基づいた適切な管理・点検・保守がなされ、備品等はきちんと整備されていた。
	備品・設備等の整理整頓	A	体育倉庫、用具庫等、定期的に機会を設けて整理整頓に努めた。	A	整理整頓が徹底されており、職員の意識も高かった。
	修繕業務	A	1件30万円未満の修繕は速やかに実施し、市の予算にて行う必要のある修繕は遅滞なく所管課に連絡した。	A	異常が認められた際は速やかに適切な処置が講じられており、その内容も問題なく記録されていた。
	清掃業務	A	館内の清掃は毎日実施しており、清潔な状態を保つことができた。特にプールの水の透明度や汚れの少なさは利用者から好評いただいている。	A	清掃が行き届いており、清潔な状態が保たれていた。
	防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策・対応は適切だったか。	A	不審者の出現という不測の事態に対し、担当課への報告、警察への対応依頼を速やかに行うなど適切な対応がなされた。常時についても、鍵はきちんと管理されており、防犯面でも適切な対応がなされている。
健全な財務・適切な会計処理	会計処理は適正になされているか	A	会計帳簿を備え、伝票等の会計関係書類も適切に保管している。普段の会計処理は事務員がおこない、毎月の監査を会計事務所に委託している。決算についても同様に事務員が作成し、会計事務所が精査しており、健全で適正な会計処理がされている。	A	帳簿類の整備、関係書類の保管は適正に行われている。会計処理も有資格者及び税理士が行っているため問題ない。
	公租公課に滞納はないか	A	公租公課は納付期限までに適正に納付した。	A	期限内に納付されていることを領収書等で確認済み。
	適正な収支状況にあるか	A	収支バランスは適正であった。前半は前年度から引き続き水光熱費の上昇が大きく、要求の結果指定管理料を増額いただくことができ、安定した経営ができた。	A	電気代や燃料費の高騰から支出が増加し、指定管理料の増額もしているが、経費削減の努力もあり、安定した経営の実施がなされた。

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

1. 利用者ニーズ把握のための実施事項（複数ある場合は、全て記入してください。）

①意見箱の設置  
②普段から積極的に利用者とのコミュニケーションを図り、意見や要望を伝えやすい環境を作っている。

2. 実施事項の結果概要（件数等具体的に記入してください。）

①意見箱 1件  
②窓口へ直接要望 1件  
③その他（電話） 1件

3. 利用者ニーズに対する対応可能性 ※アンケート結果の内容を全て具体的に記入してください。（対応可能なものか、可能であるとすればその時期等）

※凡例 A：既に対応済み・すぐに対応可能 B：翌年度に対応する C：今後、検討する D：対応不可 E：その他・分類不能

ニーズ・意見等	対応可能性	施設回答	所管課所見
1年を通してスイミング教室をしてほしい。1～2月は無理だとしても、12月にもう少し多くあればうれしい。	C	1～2月の営業については、所管課へ報告済み。12月の教室については他の受講生の意見等も鑑みながら検討する。	12月のスイミング教室の開催方法について検討されたい。プールの通年利用については、利用者のニーズ、施設の運営管理、ランニングコスト等を判断した上で検討する。
更衣室に時計を設置してほしい。	A	早急に設置し、好評いただいた。	適切な対応がなされた。
8月に合宿利用のあった団体（高校）より、利用から数日経過後に「空調が4機中2機が壊れていたのに、使用料が満額請求されているのはおかしいのではないか。何割かでも返金してもらいたい」という電話があった。	A	早急に所管課へ報告し、対応について相談したところ、「利用当日は施設へ『暑い』等の意見・要望が全くなく、利用後、数日経過してからの返金の要望であるので、返金対応は難しい」との回答をいただき、その旨利用団体に伝え、ご理解いただいた。	本案件については、指定管理者より早急に報告があり、対応方法を協議し、利用者にご理解いただいた。空調機については、令和7年度に修繕する。

4. 今後の課題・改善点等

今年度は特に目立ったクレームや要望等はなかった。今後も利用者と常にコミュニケーションを図り良好な関係を築くことにより、意見・苦情を言いやすい環境づくりに努めたい。